

授 業 科 目 名	理学療法評価学実習 I	授 業 形 態	講 義 ・ 演 習
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	沖田 任弘、水谷 貴佐、井東 優貴、平塚 将嗣	単 位 数	2単位
		時 間 数	60時間
授業概要 学習目標	〔授業概要〕 健常者を対象とした基本的検査測定技術を習得する。 その記録方法を実際に行う。		
	〔学習目標〕 模擬患者に対して基本的検査測定を実施し、その結果を適切に記録することができる。 検査結果から障害像を把握することができる。 理学療法士国家試験における評価学分野の問題で正答を選択できる。		
授業回数	授業内容		
第 1 回	感覚検査（表在感覚）		〔沖田〕
第 2 回	感覚検査（深部・複合感覚）		〔沖田〕
第 3 回	感覚検査の実際		〔沖田〕
第 4 回	反射検査（深部腱反射）		〔沖田〕
第 5 回	反射検査（表在・病的反射）		〔沖田〕
第 6 回	反射検査の実際		〔沖田〕
第 7 回	脳神経検査について		〔沖田〕
第 8 回	脳神経検査の実際		〔沖田〕
第 9 回	持久力の評価		〔沖田〕
第 10 回	持久力の評価の実際		〔沖田〕
第 11 回	形態測定（上下肢長）		〔水谷〕
第 12 回	形態測定（上下肢周径）		〔水谷〕
第 13 回	関節可動域測定（肩）①		〔水谷〕
第 14 回	関節可動域測定（肩）②		〔水谷〕
第 15 回	関節可動域測定（肘）		〔水谷〕
第 16 回	関節可動域測定（手）		〔水谷〕
第 17 回	関節可動域測定（股）①		〔水谷〕
第 18 回	関節可動域測定（股）②		〔水谷〕
第 19 回	関節可動域測定（膝）		〔水谷〕
第 20 回	関節可動域測定（足）		〔水谷〕
第 21 回	徒手筋力検査（肩）①		〔井東〕
第 22 回	徒手筋力検査（肩）②		〔井東〕
第 23 回	徒手筋力検査（肘）		〔平塚〕

第 24 回	徒手筋力検査（手）	〔平塚〕
第 25 回	徒手筋力検査（股）①	〔井東〕
第 26 回	徒手筋力検査（股）②	〔井東〕
第 27 回	徒手筋力検査（膝）	〔井東〕
第 28 回	徒手筋力検査（足）	〔井東〕
第 29 回	徒手筋力検査（頭頸部）	〔井東〕
第 30 回	徒手筋力検査（体幹）	〔井東〕
評価方法	筆記試験（50%）、実技試験（50%）の結果で総合的に評価する。	
教科書 参考図書	<small>リハビリテーション基礎評価法（平工社）</small> 〔教科書〕 新・徒手筋力検査法（協同医書出版） 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢、下肢・体幹（メジカルビュー社） 〔参考図書〕 ベットサイドの神経の診かた（南山堂）	
履修上の 留意点	基本的知識（運動学・解剖学・神経生理学）をもって学ぶ。 授業時間内では臨床実習に必要なレベルまでは到達することが困難なため復習を必ず行うこと。	
メッセージ	質問はいつでもお受けします。	